

令和2年
6月定例会

No. 149

議会だより ましこ



議会もコロナ対策
議員全員による手作りの衝立を使用

6月定例会審議結果	2～5
新型コロナウイルス感染症対策 審議内容	6～7
常任委員会活動	8～9
町民の声	10

6月定例会

新型コロナウイルス感染症 対策について集中審議

審議内容については
P6～7に掲載

令和2年第8回定例会は、6月1日から2日までの2日間の会期で開かれました。専決処分の承認4件、条例改正6件、補正予算5件のほか人事案件等を審議し、原案どおり可決しました。また、副議長等の選挙も行われ、委員会も一部変更されました。

小島富子氏が 副議長に就任



選挙

○益子町選挙管理委員会委員
及び補充員の選挙
令和2年6月24日をもって
任期満了となるため、次の方
が選ばれました。

◆選挙管理委員会委員
茂呂 博氏（益子）
久野 信弘氏（益子）
野澤 一志氏（上山）
菊地 隆氏（大沢）

◆選挙管理委員会委員補充員
仁平 宗一氏（生田目）
稲毛 康二氏（塙）
三宅 明男氏（前沢）
小倉 昭三氏（小宅）

○副議長の選挙
6月2日付け高橋家光氏の
副議長辞職により副議長選挙
を行った結果、小島富子氏が
当選しました。

益子町議会副議長 小島富子

盛夏の候、町民の皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
第8回定例会において議員各位にご推挙を賜り副議長に就任いたしました。議長の補佐に徹し、円滑な議会運営を進めてまいります。
昨今「新型コロナウイルス」による影響が観光立町を目指す本町を直撃しましたが、これまで幾つもの困難を乗り越えてきた強さがあります。

WEB版陶器市やコンビニなどコロナでの農産物販売などはメディアにも取り上げられ底力を発揮しましたし、笠間市と共同の日本遺産認定も喜ばしい事であり、関係者の努力の賜です。
今後、新生活様式で「益子」をどのようにしていくか大きなチャンスを得たと考えますので、命を守りながら経済を守るためにも町と議会が車の両輪となり汗をかいていくことである

と私は考えます。
また、「新ましこ未来計画」も最終年度、目指すは『幸せな共同体ましこ』ですが、女性の視点でも声を届け、誇りの持てる故郷づくりに鋭意努力して参ります。
結びに、多くの皆様に励まされ町議となりお陰様で14年目ですが尚一層のご指導ご鞭撻を衷心よりお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

組合議員・委員会委員の変更

○芳賀地区広域行政事務組合の議会議員の補欠選挙
○議会議長に当選した小島富子氏より辞任願が出されたため副議長に高橋家光氏を選出しました。
○芳賀郡中部環境衛生事務組合の議会議員の補欠選挙
○芳賀中部上水道企業団の議会議員の補欠選挙

高橋家光氏の副議長辞職により当該議員が欠員となったため補欠選挙を行った結果、全てにおいて小島富子氏を選出しました。



5月補正予算

新型コロナウイルス感染症対策に24億円

令和2年度補正予算

新型コロナウイルス感染症対策に伴う一般会計補正予算の専決処分を全員賛成により承認しました。

会計区分	補正前の額	5月補正予算額	合計
一般会計	77億3,000.0万円	24億911.0万円	101億3,911.0万円

【一般会計補正予算の主な内容】

- ・特別定額給付金給付事業 22億9,419万円
- ・子育て世帯臨時特別給付金給付事業 2,913万円
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止協力金 1,500万円
- ・WEB陶器市実行委員会交付金 600万円



6月補正予算

子育て応援手当、プレミアム商品券拡充

令和2年度補正予算

令和2年度6月補正予算は全員賛成により可決しました。

会計区分	補正前の額	6月補正予算額	合計		
一般会計	101億3,911.0万円	2億6,925.1万円	104億836.1万円		
特別会計	国民健康保険	27億6,400.0万円	44.5万円	27億6,444.5万円	
	後期高齢者医療	2億1,900.0万円	—	2億1,900.0万円	
	介護保険	16億129.2万円	41.7万円	16億170.9万円	
	内訳	保険事業	15億9,600.0万円	41.7万円	15億9,641.7万円
		サービス事業	529.2万円	—	529.2万円
	公共下水道事業	5億1,600.0万円	566.5万円	5億2,166.5万円	
	農業集落排水事業	9,800.0万円	4.1万円	9,804.1万円	
合計	153億3,740.2万円	2億7,581.9万円	156億1,322.1万円		

【一般会計補正予算の主な内容】

- ・高齢者応援手当 1,650万円
- ・子育て応援手当 3,335万円
- ・プレミアム商品券発行事業交付金 900万円
- ・里山宿泊&体験キャンペーン事業 600万円
- ・小中学校GIGAスクールタブレット購入※2 9,404万円
- ・小中学校思い出づくり事業 396万円
- ・児童扶養手当受給世帯応援手当 460万円
- ・新業態開拓等支援補助金※1 2,000万円
- ・コミュニティ助成事業 1,690万円

※1 新業態開拓等支援事業・・・新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小事業者を対象に「密集・密接・密閉」回避のためや既存事業以外に新たな環境に対応する事業に係る経費の一部を補助

※2 GIGAスクール構想・・・全国一律のICT環境を整備するため、校内通信ネットワークの整備及び児童生徒1人1台端末の整備を実施

専決処分の承認

○益子町税条例等の一部を改正する条例 (全員賛成)

4月1日から施行された地方税法等の一部改正に伴い、個人の町民税の非課税の対象に、未婚を含めた「ひとり親」の規定を追加し、固定資産税では、所有者不明の土地や家屋について、その使用者を所有者とみなして課税できるなどの改正です。

○益子町介護保険条例の一部を改正する条例 (全員賛成)

4月1日から施行された介護保険法等の一部改正に伴い、令和元年10月からの消費税増税に伴う介護保険料の第1段階から第3段階の被保険者を対象とした軽減強化を完全実施するものです。

条例の改正

○益子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 (全員賛成)

4月1日から施行された国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険税の5割軽減及び2割軽減の判定に係る基準所得を引き上げるための改正です。

○益子町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 (全員賛成)

新型コロナウイルス感染症対策の財源の一部に充てるため、7月から12月までの報酬を100分の10減額するものです。

用語解説

『専決処分』とは、緊急を要する事件が発生し、議会を招集する時間的余裕がないときに、町長はその議決すべき事件を処理することができます。ただし、この場合次の議会で報告しなければなりません。

なるほど!



○益子町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正 (全員賛成)

新型コロナウイルス感染症対策の財源の一部に充てるため、本年7月分の給料について、町長が100分の50、教育長が100分の30を減額するものです。

○益子町税条例の一部改正 (全員賛成)

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として、軽自動車税の環境性能割について臨時的軽減措置の適用期限の半年延長、新型コロナウイルス感染症の影響により収入等が減少した場合の町税の徴収猶予の特例、住宅借入金等特別控除の適用期限を令和16年まで延長するもので、地方税法等が一部改正されたことによるものです。

○益子町固定資産評価審査委員会条例の一部改正 (全員賛成)

参照する法律の名称変更に伴う所要の改正です。

○益子町国民健康保険条例の一部改正 (全員賛成)

国民健康保険において、新型コロナウイルス感染症に感染するなどした被用者に対し、傷病手当金を支給するための所要の改正です。

○益子町後期高齢者医療に関する条例の一部改正 (全員賛成)

後期高齢者医療において、新型コロナウイルス感染症に感染するなどした被用者に対し、傷病手当金を支給するための所要の改正です。

人事

○益子町固定資産評価審査委員会委員の選任の同意 (全員賛成)

令和2年6月21日をもって任期満了となるため、地方税法の規定により、益子町大字大沢 小埜宏人氏の後任で引き続き同氏の選任に同意いたしました。

○益子町農業委員会委員の任命の同意 (全員賛成)

任期満了に伴い、農業委員会等に関する法律の規定により次の方々の任命に同意いたしました。

- 浦壁 俊之氏 (大沢)
- 大塚 辰巳氏 (東田井)
- 小倉 節子氏 (小宅)
- 勝田 育夫氏 (塙)
- 菊島 誠氏 (本沼)
- 黒瀬 君枝氏 (益子)
- 佐藤 武氏 (大沢)
- 鈴木 保氏 (生田目)
- 瀬尾 洋氏 (益子)
- 高濱 齊氏 (小泉)
- 出口 靖雄氏 (山本)
- 床井 勉氏 (大平)
- 法師人文子氏 (前沢)

契約

○電気フライヤー売買契約 (全員賛成)

5者による指名競争入札で、栃木県宇都宮市鶴田町 株式会社中西製作所 宇都宮営業所 が落札し、「1千56万円」の契約について議決しました。

損害賠償の額の決定

令和2年4月10日の公用車による益子地内で発生した交通事故について、損害賠償の額を72万1千631円に決定しました。

陳情

●「日米地位協定の抜本的見直しを求める」よう意見書提出を要請する陳情

(令和2年陳情第1号)

◆陳情者 栃木県宇都宮市東町 157-16

安保破棄栃木県実行委員会・

栃木県平和委員会

木塚 孟

◆趣旨

全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」が提起している事項について。国に対して早期に実現することを求める意見書を提出すること

◆審議結果【継続調査】

(全員賛成)

総務産業常任委員会に付託され、慎重審議のため閉会中の継続調査となった。

寄附受け入れ報告

○新型コロナウイルス対策のため

◆寄附者

栃木県宇都宮市鶴田町

株式会社TKC

代表取締役 飯塚 真規氏

◆寄附物件等

金 100万円

報告

○令和元年度繰越明許費

繰越額は一般会計で1億4千276万7千円です。主な事業は、地籍調査事業、担い手確保・経営強化支援事業、町道31号線豆田橋架替事業などです。

○株式会社ましこカンパニーの経営状況

地方自治法の規定に基づき第三セクター株式会社ましこカンパニーの報告を受けました。

令和元年度の来場者数は84万人、売上は6億6千672万5千円で、うち純利益は1千448万4千円です。

新ましこ未来計画に関する提言書を町長に提出

4月から4回にわたり、各委員会及び全員協議会で新ましこ未来計画の検証を行いました。5つの基本目標それぞれの中で、移住定住事業・婚活事業の強化、農業の担い手育成、6次産業化への取り組み、観光戦略における協議会の在り方の確立、チャレンジクラブへの支援、ましこ世間遺産の活用、役場周辺土地区画整理組合への支援強化などを提言し、6月18日、町長に提出いたしました。



新加工所を現地調査



6月11日、新加工所の現地調査を行いました。

この加工所は町内産の農産物を使用した高付加価値の商品開発に取り組むほか、町内外からの受託製造にも対応できる施設で、令和3年3月までに栃木県食品自主衛生管理認証制度(とちぎHACCP)の取得を予定しているとの説明を受けました。

今後6次産業の推進役になることを議会としても注視していきます。

議員発議で 議員報酬削減

町内における新型コロナウイルス感染症により被った深刻な状況を鑑み、全員協議会で議員報酬の削減について協議を行いました。

総務産業常任委員長から議案の提出があり、全員賛成で可決されました。

議員研修を開催

7月9日、元全国都道府県議会議長会事務局次長・議事調査部長の鶴沼 信二氏を講師に迎え、最近の地方議会をめぐる現状と課題等について研修を行いました。



新型コロナウイルス

感染症対策審議内容

直井議員 国の持続化給付金は50%以上の売上減少の事業者を対象だが、町として今現在この地域経済の影響としての現状をどの程度把握しているのか。

産業建設部長 現在町内の事業所の方と随時意見交換を行っているが、現在資金繰り等で急を要しているような所はほとんど聞いていない。現在セーフティネット保証の申請が極めて多くなっている。事業者とは意見交換を随時行い、適切な対応を取っていくようにしていきたい。

直井議員 企業や商店のソーシャルディスタンスの確保に伴う設備投資などの今後の対応の検討は。

町長 町の新型コロナウイルス対策本部に商工会、JA、観光協会、社会福祉協議会等のほか、各経済団体も対策の本部員として入ってもらっている。各団体と連携を図って限られた財源の中で一番効果の上がりそうなことをやっていきたい。

小野澤議員 学校休業中の学

習について、教育の格差がでてしまうのではないかと。

教育長 今後条件を整備しながら、第2波、第3波に備え、多くの生徒が同じような学び方ができるような努力をしていきたい。

小野澤議員 学校でのエアコンの設定温度や登下校中の熱中症対策は考えているのか。
学校教育課長 エアコンの設定は28℃となっているが、感染症対策をする上では窓を開けながらエアコンをしなければならぬと想定しているの

で、今後検討する。
教育長 登下校ではマスク着用だが、マスクを外した時には間を取って登下校するなど、各学校に具体的な場面ごとに感染症対策を講じるよう指導している。

高橋(家)議員 学習状況、心

の問題等の課題を捉え、これから遅れをどのように取り返していくのか。
教育長 心身の状況については、児童・生徒の様々な心身の状況を把握し、きめ細やかな指導を行っていきたい。

学習期間の確保については、7月31日までに第1学期と捉え、8月1日から8月16日ま

でを夏季休業期間とし、第2学期の始業式は8月17日からということと準備を進めている。

日渡議員 教室の座席やスクールバス、給食についてどのような指導や対策を取っているのか。

教育長 文科省では1クラス40人までとしているが、益子町では1クラス大体20人から30人程度であるので、教室に若干の余裕があるが、今までより間を開けたり、クロスさせるなどの対応をしている。

また、スクールバスではマスクを着用し、こまめに窓を開けて換気したり、できるだけ隣同士に座らないようにしている。

学校給食についても、できるだけ配膳に係る時間を少なくするようにおかずなどを工夫している。

日渡議員 長期間の休校等で体力低下が考えられるが、部活動をどのような手順で再開されるのか。

教育長 6月から部活動を再開するが、6月末まで対外試合や練習試合は行わない。部活動については子どもの健康が第一であるため、段階的に

子どもたちの健康を観察し、心身の状況を把握しながら、無理のないように部活動運営を進めるよう中学校にお願いしている。

諸田議員 世の中ではコロナによるストレスでDVが発生しているという話を聞くが、町の現状と対策は。

健康福祉課長 DVに関しては、休業期間中2件対応した。学校が再開してから通告が増えると思われるが、通告があり次第、即座に対応できるように体制は立てている。

諸田議員 定額給付金でDVに絡む申請はどのようになっているのか。また、申請書の中の「給付金の受給を希望しない」欄に間違ってしまった場合

の対応はどうか。
総務部長 DV関係の申請は避難先市町村に申出書を提出すれば交付される特例がある。申請書の中の「受給を希望しない」欄にチェックが入って

いた場合については、基本的にはチェックが入らない前提で進めているので、本当に給付金を辞退するのかどうか電話等で確認をしている。

高橋(正)議員 町の小売業全

体が非常に閉塞している状態であるので、町独自の給付を検討してもらいたい。

町長 益子町は県内の中でも小規模事業者が非常に多い町である。売上を上げるためにどんなことができるのかを明日提案する予定である。次のタイミングでどんなことができるのか、第2波、第3波の時にどんなことをしていくべきなのかを明日議論いただければと思っている。議員の提案についてはしっかりと受け止めさせていただく。

加藤議員 会社の営業が不振で、休業または雇用している人を解雇されたという状況は掌握されているか。

産業建設部長 町として、個別の事業所で解雇されたとか、そういう事象については今のところ把握はしていないが、商工会と連携をし、現状について調査を行っている。

加藤議員 税金の納付についての対応は。

税務課長 町税の対応としては、徴収の猶予、固定資産税の軽減、減免があり、それぞれの要件を満たした場合に適用される。

大内議員 児童の心のケアは

どのように考えているか。

教育長 スクールカウンセラーやソーシャルスクールカウンセラーを活用し、対応していく。いじめを含めて子どもたちをしつかりと観察し、状況に応じ、学校・専門機関や教育委員会がサポートできるものかを慎重に判断し、そういう状況があれば直ちに対応してまいりたい。

大関議員 飲食店の売り上げの落ち込みが大きくなっていく状況で、少しでも補填できるようにテイクアウトを始めた店もあるがどの程度補填されたか把握しているか。

産業建設部長 そのような政策でどのくらいの金額が通常の営業活動で補填されたかというの、今のところ実数は把握していないが、商工会で前年と今年度の売上を含めた調査をしている。調査結果を待って中身を判断していきたい。

大関議員 状況がよくなれば、自分たちも積極的に町内の飲食店を使えるようなことをしていきたいと思っているが、町として、状況が好転した場合にどういうことを考えているのか。

町長 世界各国の状況を見てみると、かなり大きなついでを持ちながら、人がある程度集まっても大丈夫な状況をつくるのか、店舗の面積の収容人数を減らしながら、懇親会等も開けるようにするとかいろいろ工夫をしている。

そういう事例を基に補助金等の検討もしていきたいながら、コロナと共存する中でどうやって益子の経済活動がしっかりと回復できるのか、売上を上げることができるとか、そういったことを継続的に考えていきたい。

岩崎議員 感染症予防の中で自己の免疫力を上げるといって取組が非常に大切だと言われている。町民個々の免疫力を上げるプログラムが必要と思うが、その辺の取り組みについてどう考えるか。

健康福祉課長 感染症に対しては自己免疫力を高めることが必要だと思う。それに関して、普段からの運動等により体力をつけておくとか、食べ物によって免疫力を高める等の方法がある。機会があれば、ホームページ、広報等を使い、食事からできる免疫の予防効果や上げる方法等も検討して

いきたい。

小島(富)議員 避難所の機能や集団検診を含めて、改善センターの体育館の冷暖房設備を修理してはどうか。

生涯学習課長 改善センターの体育館については床の部分がシロアリ等で腐食が始まっていることと、天井部分が落ちてしまうということで、徐々に使用のほうを控えている状況であるため修理は行わない予定である。

長岡議員 文科省で補助教員当を含め大幅に採用する記事が出ていたが、町としてもぜひ積極的にと思うが、その辺の状況はどうなっているのか。

教育長 文科省が学びの遅れを取り戻すために学習指導員という名称で予算を確保している。現在町においては中学校区ごとに1名の配置を要望している。非常勤講師をお願いしているが、応募者が集まるか懸念される。教育実習が思うようにいかない学生がいることから、学習指導員としての活動を教育実習の一部に充ててもらえないかということも踏まえて要望している。

長岡議員 特別給付金が給付され、町民を消費に向かわせ

るための工夫として、プレミアム商品券前倒しの考えはあるか。

観光商工課長 プレミアム商品券は商工会の発行事業である。商工会のほうから、発行時期については、大幅な前倒しはできないが、昨年よりは少しでも早い時期に発行できるように考えていきたいということと、内容についても商店街の中で飲食店や小売店をサポートできるような内容で発行を考えていきたいという話を聞いている。

廣田議員 コロナウイルスの第2波、第3波また、今年の冬ということもあるので今後マスク、消毒液等の対応や備蓄等はどうか考えているか。

健康福祉課長 マスクの備蓄については現在約3万4000枚。全世帯に配布するとなると40万枚程度は必要になると。もう少しマスクの値段が落ちていくから購入する予定である。消毒液については、消防法でアルコールについては1事業所あたり80リットルまでしか保管できない規定になっているので、分散で備蓄する方法も検討しながら購入を予定している。

廣田議員 この際、かなり事業の見直しが必要ではないか。現実的な話もやっていかないと相当苦しい財政状況に追い込まれると思われる。財政運営の基本的な考え方、今から5年後に向かってどのように考えているか。

町長 来年の税収等も含め、今後の町の財政状況をどうするのか、これは来年度以降の経営計画にしっかりと盛り込むべく、今年度のうちに財政計画、これについてはその中にしっかりと組み込んでいかなければならないため、検討していく。

直井議員 イベント開催について、どのような対応を取るのか。

町長 先が読めないもので、かなり瞬発力を持って瞬時にいろいろな対応をしていかなければならない。指針をしつかり示した上で、町としては対応を町民の皆さんとともに決めてまいりたい。

直井議員 コロナウイルス感染症対策でどういう支援策があるのか、町民に対しての広報活動を積極的にしていきたい。

総務産業
常任委員会

7項目

- 新ましご未来計画検証 (4/28、5/28、6/1)
- 職員の人材育成 (4/28)
- 令和2年度各課重点事業 (5/28)
- 地籍調査 (6/29)
- 観光戦略DMO (4/28)
- 町税の徴収率向上対策 (6/29)
- 陳情 (6/1、6/29)

●職員の人材育成

人材育成については、職員の能力開発を効果的に推進するため、人材育成基本方針を平成21年に策定し、方針に基づき人材育成事業を実施している。自己啓発研修、OJT研修、職場外研修などの職員研修を実施するほか、研修以外の人材育成策として人事評価制度の改善に取り組み、今年度より各職員が評価者としても目標設定をし、結果を重視した上で評価の方法をオープンにした。評価結果を職員本人に提示することでフィードバックし、人事評価制度を通して人材育成に繋げていく。

【委員会の意見】
各職員のスキルアップを図るための意識醸成は必要であることから、自ら学び、身に付く研修を通じた人材育成となるように図りたい。また、全国自治体の優良事例等を学ぶ研修等は、職員本人に限らず、町行政にとっても効果が得られる。研修の成果を活かして、政策・施策の立案能力の向上を図り、総合振興計画等に反映されるよう努められたい。

●令和2年度各課重点事業

【審議結果及び意見】

《総務課》

人事評価については、今年度より従来の勤務評定に替え、より客観性、透明性の高い人事評価制度を新たに導入し運用する。当委員会として人事評価ガイドブックの配付を求め、今後審議案件として精査することとする。

現況のコロナ禍に伴い、職員がテレワーク等に対応できるように、さらなるICT化の推進を図られたい。

《企画課》

移住定住促進の取り組みを実施しているが、中古住宅の購入及び賃借の需要があることから空き家バンク制度の拡充を図るため、定期的な調査が必要である。今年度実施される国勢調査等を活用して地域の協力のもと、空き家状況の把握をされたい。

《農政課》

農地バンク制度活用による農地の適正利用の推進については、登録数31haに対し、2.5haにとどまっている状況にある。今後、新規就農者移住策として企画課との連携や観

光目的等としての公営農園の可能性を検討されたい。また、後継者育成としてのマッチング事業等の拡充を図られたい。

《観光商工課》

地域ポイントカード事業の運営、利用促進を実施する。地域ポイントカードについては、既に運用が開始されており、観光施策に向けたデータ収集・分析にとどまらず、地域経済の循環化として重点的に推進されたい。コロナ禍での観光施策として、県民向けの体験型等観光キャンペーンの実施、アフターコロナを見据えた取り組みとして、国・県の観光施策と差別化を図った事業の実施を図られたい。

《建設課》

下水道浄化センターの汚泥脱水処理施設については、本年度に実施設計、令和4年度に稼働開始の予定である。ランドスケープデザイン関連においては、9月中旬に全体報告会を予定している。今後、関係各課と連携を図り、協働の精神のもと推進していく。ランドスケープデザイン作成に伴い、景観条例の制定を視野に調査、検討されたい。

●町税の徴収率向上対策

徴収率の向上が見受けられる状況にあるが、県内では低い水準にある。税務課内による民間を活用した研修・講習会を実施し、滞納対応策を講じている。

【委員会の意見】

納税の口座引落率が43%であり、さらに推進する必要がある。また、督促手数料の適正化、納付時のキャッシュレス化についても調査、検討されたい。

●地籍調査事業

新たに地籍図・地籍簿を作成、更新することにより登記簿と公図が一致するため、土地取引の円滑化、災害時の復旧工事の迅速化等が図れる。昨年度に引き続き山本地区、今年度から前沢地区、大沢地区に着手する。

国・県の事業費補助率が80%であり、国道改修、土砂災害地域等に優先的に予算付けされる。

【委員会の意見】

全町の調査完了に要する期間が約30年となるため、中長期的展望と併せ、継続的な職員の育成を図られたい。

教育厚生
常任委員会

3項目

○新ましこ未来計画検証 (4/28、5/28、6/1)

○令和2年度各課重点事業 (5/28)

○花のまちづくり事業 (6/29)



●令和2年度各課重点事業

【審議結果及び意見】

《生涯学習課》

町民大学は今年度益子芳星高校2年生の生徒を対象に実施される。カリキュラムについては、基本的には昨年と同様になるが、今回、新たに地域資源に注目した講座を設ける予定となっている。講座の中で本町に対する丁寧な説明を行い、生徒達がアクシオンプランづくりの中で、自分達に何が出来るか考えるよう進められたい。

《環境課》

獣害対策事業については、効果を挙げるためには農政課との連携を図ったり、隣接他市町との広域的な連携が必要である。

あわせて、猟友会や捕獲業務従事者の高齢化が進んでいるので、若手育成も早急に図られたい。

《住民課》

住民票の写しや印鑑登録証明書等を役場閉庁時でも交付できるように、コンビニ交付サービスについて来年度導入に向けて検討している。

マイナンバーカードについては、個人の全口座ひもつけが企図されていたほか、制度への理解が不十分であったため、警戒心を持たれて交付希望者が増加しなかった。今後、一人一口座連結と方針が変更されたこと、またコンビニ交付サービスにはマイナンバーカードが必要になること等から、これを機会に趣旨を周知させて、交付数の増加につなげていくべきである。

《健康福祉課》

町内の一本化した婚活イベントや県の婚活支援等の情報提供に努めて、成婚率を高めていくことが要求される。メタバリックシンドロームについて、予備軍が減少しKPIに接近しつつあるものの該当者が増加の傾向にありKPIを大きく超えている状況にある。健康デーの周知を図り、メタバリックシンドローム該当者・予備軍両方の減少にあらたられたい。

《高齢者支援課》

認知症高齢者対策として、認知症予防のためにいきいきクラブや各地区のサロンの活性化を推進する必要がある。

高齢化社会の中さらに新規クラブ・新規サロンの増設、会員数や参加者の増加に向けて、創意工夫や努力をすすめていかなければならない。高齢者総合福祉計画策定のためのアンケート結果については、よく分析したうえで問題点を洗い出し、計画に反映されたい。

●花のまちづくり事業

この事業は未来計画の中で「町を花できれいに飾る事業を通して地域づくり・コミュニティづくりをすること」を主な目的とし、地域の活性化や地域交流の拠点づくりに貢献している。以前ひまわり・コスモス祭りの会場で調査を実施したが約5年経過しているため、再度アンケート調査の実施を検討している。今後は商工会と連携し、町全体にお金が行くような仕組みの構築及び観光事業と連携を図り、財政効果を上げる取り組みを検討している。

【委員会の意見】

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため事業を大幅に縮小し、ひまわり・コスモス祭りは中止となったが、これを機会に合同反省会の意見を参考にし、当事業の目的・意義・成果・今後の課題等について検証する必要がある。花は情操を豊かにし精神的な面で癒やしになることから、単に費用対効果の部分だけでは評価できないところもあるが、今後アンケート調査を通して明確な数値を検証されたい。

町民の声

佐藤 民一さん



親切な窓口対応に感謝。
「災害には想定内で対応」
に期待。

生まれも育ちも益子。でも
転入4年目の住民です。
趣味は、ガーデニング、^{まこり} 読書、ゴルフ……。

今年は年初より新型コロナウイルスの影響で、私達を取り巻く環境が一変し、ほとんどの方が不安定な生活を続けている事と思いますが、店頭からマスクが消え、入手困難な時に、益子町では全戸にマスクの配布を頂けた事に感謝致しております。

さて、今回この投稿に当たり町民としての自分を振り返ると、あまり良い町民ではないように思います。生まれも育ちも益子ですが、22歳で町外に仕事の場を得てからの45年間のほとんどを町外で過ごし、家族だけが地元で暮らし、自分は何度かの国外生活もあり、4年前に転入するまでは少しの間ですが益子町民ではない時期もあったからです。

町民復帰となる転入手続時から現在までの思いを少し記します。まず役場の職員の方々の町民(私)への対応ですが、私の仕事の中で感じていた役所感とは違っており、驚きと心地よさを得られました。

私は仕事上約20年間、市や県の規制法令行政窓口に通って来たため、益子町役場も「そんな感じかな」との思いで住居転入手続に役場の窓口に立ったのですが、若い職員の方々のとても親切で機転の利いた対応に感心しました。一例を上げると、複数の窓口を回らない要件でしたが、最初の窓口の方が他の窓口の担当の方と連携し、私は席を立つことなく最初の窓口で全て済んでしまいました。



最近、自治会の役員上、たびたび役場の各部署の窓口を訪ねますが、その対応は続いているように感じますので、今後とも継続を願います。

最近の水害等は、「100年に一度」「今まで経験したことのないレベル」と耳にしますが、近年はそれが毎年どこかで発生する状況です。参考になる事例やデータはあると思います。

益子町は「想定内で対応できたね」と言える備えができるよう議会も含め、国や県を巻き込んだ取り組みを期待します。

あなたも議会を
傍聴しませんか

次回 **9月3日(木)**
開催予定

本会議当日、3F 議会事務局で傍聴証を交付します。予約不要。
※新型コロナウイルス感染予防対策として、議場の傍聴席の間隔を空けて着席していただくため、傍聴定員を18名に制限いたします。

※議会の様子は役場 1階ホールのテレビモニターで放映しています。

町政に関する意見
を募集します！

10月に予定していました議会報告会並びに意見交換会は新型コロナウイルスの感染予防対策のため通常通りの開催が難しくなりましたので、方法を変えて町民のみなさんの声を募ることにしました。
メールもしくは書面にて議会事務局までみなさんのご意見をお寄せください。

※電話では受付いたしませんので予めご了承ください。
◆受付締切 8月31日まで

e-mail gikai@town.mashiko.lg.jp
FAX 72-0900



広報広聴
常任委員会